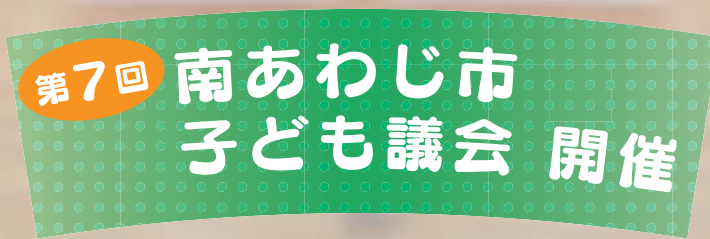


議会だより

第71号

令和3年11月1日発行



テーマ

まちづくりについて
クラスで話し合おう

主な内容

- 第7回子ども議会…………… P2～3
- 第105回定例会の結果…………… P4～9
- 一般質問一覧表…………… P11
- 第104回臨時会の結果…………… P12
- 委員会調査レポート…………… P14～15
- 市民ギャラリー…………… P16

南あわじ市議会
ホームページ



南あわじ市議会
YouTube



<https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/site/gikai/>

第7回 南あわじ市子ども議会 質問一覧表

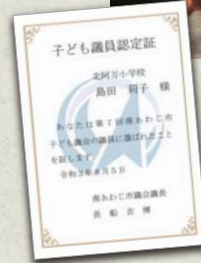
子ども議員名(学校名)	質問内容	答弁者
島田 莉子 (北阿万小)	交通道路の安全	吉田 良子
堀 日菜子 (福良小)	新たな施設の提案	小島 一
足立 夢子 (阿万小)	いやしのある町づくり	熊田 司
寺内 柗太 (広田小)	今後の南あわじ市について	蛭子 智彦
豊原 心咲 (市小)	きれいな街であり続けるために	北村 利夫
前川 遥香 (松帆小)	海を豊かにする理由	木場 徹
村上 蒼馬 (辰美小)	公民館改造大作戦	久米 啓右
有賀 圭佑 (志知小)	よりよい南あわじ市にするために	太田 康文
川野 樹生 (湊小)	こんなまちになってほしい	印部 久信
丹羽ヘスアルド有吾 (榎列小)	歩道整備をみんなのために	土井 巧
宮野 伊織 (倭文小)	優文が安全で住みよい場所になるように	谷口 博文
内藤 太稀 (沼島小)	沼島の魅力を守りたい	中村三千雄
榎本花璃菜 (神代小)	自転車についての提案	原口 育大
太田 基博 (賀集小)	学校生活をより快適に過ごすために	廣内 孝次
松浦 稜華 (八木小)	未来の明るい南あわじ市のために	登里 伸一



村上蒼馬 子ども議会副議長



記念品贈呈



子ども議員認定証

第7回 南あわじ市子ども議会

～こんなまちになってほしい～

8月5日、「第7回南あわじ市子ども議会」を開催しました。当日は、市内の各小学校の代表15人が子ども議員となり、「まちづくりについてクラスで話し合おう」をテーマに発言し、議員が答弁を行いました。また、入場時に南あわじ市子育て応援シンボルキャラクター「ゆめるん」と明るい選挙キャラクターご当地めいすいくん「うずしお船長めいすいくん」が子ども議員を出迎え、緊張感に包まれた会場を和ませました。



榎本 花璃菜 子ども議会議長



子ども議員入場



感染防止対策



宮野 伊織 議員 (倭文小)

カーブミラーがくもっていたり、外灯が少ないなど危険なので綺麗にしてほしい。地元で店がないので、お店を誘致してほしい。



丹羽ヘスアルド有吾 議員 (榎列小)

通学路は、小学生だけでなく高齢者や幼児も通る道。歩道、外灯などをつけて、みんなが安全に安心して暮らせる南あわじ市にして欲しい。



川野 樹生 議員 (湊小)

街灯が少なく暗くて危険。街灯がつくと明るく安全なまちにつながる。商店街を活気づけるため、色んな人が楽しめるイベントを開催してほしい。



寺内 柗太 議員 (広田小)

自然豊かなところを生かして山に遊歩道を整備すれば、みんなが楽しめる。ゴミをすてにくい環境を作っていく町づくりはどうか。



足立 夢子 議員 (阿万小)

自然とふれ合える癒しのある町にしたい。高齢者が安心してスポーツなどができる憩いの場が少ないので、公園をつくる事を提案します。



堀 日菜子 議員 (福良小)

閉店した店、豊かな自然を活用した事業が展開できれば、子どもも大人も楽しく学び、遊べる場の提供ができると考えます。



島田 莉子 議員 (北阿万小)

事故のない安全で安心できる通学路にしてほしい。通学路の再点検をし、子どもたちの安全について考えてみてほしい。



松浦 稜華 議員 (八木小)

通学路にガードレールがない。事故を起こさないためにも必要。いい体験ができるイベントを増やすと、もっと明るくて楽しい市になる。



太田 基博 議員 (賀集小)

教室に虫が入ってきたり、ガラスが割れたら危険。網戸をつけてほしい。熱中症のリスクが高いので、特別教室にもエアコンをつけてほしい。



榎本 花璃菜 議員 (神代小)

自転車せん用の道がないので、道がせまい、見えにくい、危ない。市民の安心安全を守るため、大きな事故が起こる前に対策してほしい。



内藤 太稀 議員 (沼島小)

海洋ゴミや観光客のゴミが多く、マナーを守らない人がいる。私たちの綺麗な自然・沼島を守ってほしい。



有賀 圭佑 議員 (志知小)

旧三原志知小学校を、人の能力を高める勉強や、体を動かせるスポーツ、市の名産物を売っている売店のある教育センターにするといい。



村上 蒼馬 議員 (辰美小)

地域の公民館に、地域の人と関わり合うことができる場所や体験教室、音楽部屋、売店などがあると、今よりも気軽に快適に便利に使える。



前川 遥香 議員 (松帆小)

海を豊かにする事は、海の生き物を守るだけでなく漁業や観光が盛んになり、地域の発展にもつながる。海の素晴らしさを伝えていきたい。



豊原 心咲 議員 (市小)

きれいな街であり続けるために、ポスターなどで呼びかけ、ゴミ箱を設置。カラスよけネットを希望者に無しように配ることを提案します。

決算審査特別委員会

【日程】R3.9.13～9.16
委員長／原口 育大
副委員長／小島 一
委員／全議員
(議長・監査委員を除く)



審査過程で委員から出された主な意見は次のとおりです。

一般会計審査報告

歳入

ふるさと南あわじ 応援寄附金

当初予算での見積もりは7億円であったが、決算では11億1千3百万円余りとなった。これは、市内事業者の協力により魅力的な返礼品を用意できたことやコロナ禍での巣ごもり需要の



▲ふるさと納税返礼品

歳出

移住・定住促進事業

マイホーム取得補助金は、令和2年度18件の申請で、46名の転入者と、一定の成果があった。移住・定住の環境を整備することは、若い世代の労働人口の増加にもつながるので、今後とも積極的に取り組まれない。

地域おこし協力隊 推進費

地域おこし協力隊員が、ハチミツや干物など熱心に地場産品を使って商品開発をしている。市として、そ

ほか、担当者が努力した結果だと考える。今後も、この経験を活かし、更なる取組をしていただきたい。また、寄附にあたって寄附者からは、使用目的が指定されているが、その目的を考慮した上で、市の発展のため思い切った施策をとって頂くよう努められたい。

の商品をもっとPRして長く市場に流通するようバックアップし、地域が活性化するように取り組まれない。

地域づくりチャレンジ事業補助金

一つの事業期間は、3年間となっているが、コロナ禍にあつて、なかなか思うような活動ができず、せっかくの予算も十分に使用できていない地域もあるので、幅のある対応をしていただきたい。



▲地域づくりチャレンジ事業

地域づくり事業交付金

各市民交流センターでは、地域の活性化のために様々な事業をしているが、このコロナ禍にあつて、事業が実施できておらず、繰越金が出ている。コロナ禍とい



う特殊な状況なので、25%以上の繰越しができるようによく検討されたい。

防犯カメラ設置補助金

防犯カメラは、子供達の通学路の安全、犯罪抑止として非常に有効である。防犯灯は、公費負担が前提であるので、防犯カメラも防犯灯と同じく、自己負担なしに公費で設置ができないか検討されたい。

透析患者通院移送事業委託料

週に3回、ひと月4週で約12往復の通院が必要な中、ひと月に3往復しか利用できない。利用回数の根拠や対象者、年間の利用状況等を十分に検証し、月3回分の助成が適当かどうか、よく検討されたい。

淡路瓦屋根工事補助金

補助金は、淡路瓦を屋根工事に使用した個人住宅に限られているが、地場産業を振興し、瓦の町並みを形成するという考え方からも、店舗・集合住宅等個人住宅以外への補助についても検討されたい。



▲淡路瓦

民間提案型コロナ対策支援事業補助金

コロナ禍にあつて、新しい生活様式の中での新たな経済活動の提案に対して補助金を交付したものが、補助金はきっかけであり、提案された事業が継続して取り組まれていることが大事である。今後、提案された事業の効果の把握と、取組の継続のための支援に、努められたい。

バイオマス利活用施設 土地借上料

現在でも4か所へ支払っているが、バイオマス利活用施設として稼働しているのは2か所である。有名無実で稼働実態のないところへ地代を払い続ける必要があるのか適切な対応を検討されたい。

耕作放棄田保全事業 補助金

今年度新たに5ヘクタールが荒廃農地となるなど、耕作放棄田の発生は深刻な状況である。この事業では、予算に対し、決算額が非常に少ない。農地には所有者がいるものの、現状、集落の方が保全管理を担わざるを得ない。今後、現制度の拡充のほか、農地保全のための良い方法を考えていただきたい。

底質改善魚礁モニタリング調査業務委託料

調査によりナマコの増集



▲ナマコ

商工振興事業

経営アドバイザー業務委託料では、相談件数の実績は非常に少なかったが、目に見えないところのつなぎをしており、効果は出ている。全国的にも珍しい新製品・新技術開発等支援補助金なども、もっとPRして商工会の会員数を増やし、市全体の商工業者の支援につなげていっていただきたい。



▲緊急通報システム

一人暮らしの高齢者等が在宅で安心して暮らせるよう、緊急時に迅速に対応するための装置を設置するものだが、利用者が減ってきている。利用しやすい方法

緊急通報システム機器 購入費

高齢者世帯、障害者のいる世帯、ひとり親世帯などを対象としているが、対象世帯数に対し約半分の申請受付に留まっている。申請手続の煩雑さが見受けられるため、淡路広域水道企業団やさんさんネットとも連携して、手続の簡素化を図られたい。

水道基本使用料等 生活支援福祉補助金

生活保護の目的は、様々な理由で働くことができない人や、極端に収入が少ない人のためにある。生活保護費は生涯にわたり永久的に受給できるという錯覚を起さぬよう、病気等が治癒した後は、自立した生活に向けて就労支援を行うなど適切な対応に努められたい。

生活保護費

を検討するとともに事業の周知を図り、高齢者等が安心して暮らせるまちになるよう活用されたい。

共同ごみ集積箱購入 補助金

旧町時代では、5人以上の申請で集積箱を無料で配布。市でも平成27年度には、5人以上の申請で購入金額の4分の3以下、上限が6万円の助成をした経緯もある。無料にできないのであれば、補助率を上げるなどして、ごみを出しやすい環境整備に努められたい。

▼道路橋梁維持費

補修の必要な道路が多い中、補正予算で減額している。地元の要望だけでなく、危険箇所から優先して、特に通学路の安全対策のため道路整備を実施したい。また、安全な道路環境の維持管理のため、必要な箇所への十分な予算措置に努められたい。



▼コミュニティバス 運行業務委託料

観光周遊ルートについて、3月の花みどりフェアに合わせて12日間、一日8往復を運行させたものだが、乗車人数は51人とどまった。今回は、2025年の大阪・



▲自走式水洗トイレカー

▼自走式トイレカー 購入費

健康にも影響があると言われている災害時のトイレ環境の整備のため、車イスでも利用できる多機能トイレを備えたトラックを購入したということだが、実際に使用する機会は少ないので、市民に十分知ってもらえるよう、防災訓練など活用できる場面ではしっかりとアピールするよう努められたい。

▼地区公民館活動交付金

21地区公民館に活動交付金を配分しており、地域のふれあいの場づくりや健康増進、レクリエーション事業など、地域の独自性をもって工夫して使われている。中央公民館では、講師謝礼を支出して公民館講座を主催しているが、地区公民館においても講座活動は大事であるので、別途に講座のための予算配分も検討されたい。

▼銅鐸を活かした まちづくり事業

観光ツアーやグッズ開発などの取組をしているが、時間が経つと話題性が遠のいてしまう。定期的に研究成果や今後の取組についての情報発信をして、銅鐸を活かしたまちづくりにし、しっかりと取り組んでいかれたい。



▲松帆銅鐸

全 般

普通財産

行政財産を用途廃止してから活用が決まらず、一部放置されているような財産も見受けられる。有効活用ができそうな土地は、今後活用できるような管理に努め、改めて市の財産として捉え、売却や貸付、再利用を含めて市民に還元していきけるような活用方法を十分に検討されたい。

■討論 (一般会計決算)

反対 吉田 良子 議員

討論要旨

コロナ対策としての市独自の事業持続支援金の利用者状況をいち早く把握し、支援金の増額等の改正が必要であったが、不十分な対応で多額の不用額となった。市として市民への現金給付に取り組み市民生活を支えるべきであった。

特別会計審査報告

▼介護保険特別会計

認知症の方が、住み慣れた地域で暮らせるようサポートする、また、家族の負担を減らすための介護を助めるなど、それぞれに合った対応が必要になってくるので、今後、行政として、十分な事業計画をもって取り組まれたい。

▼産業廃棄物最終処分 事業特別会計

令和2年度実績のまま受け入れていくと、今後3年で計画容量に達することから、受入制限を行うこととしているが、今後、産業廃棄物の処分場については、地元業者の利便性や経費負担を考えると、市内に必要である。事業主体や場所等課題は大きいですが、まずは、候補地の選定からでも早急に取り組まれたい。

議案審査で こんな議論をしました

第105回 定例会 8月30日 ~9月27日

新型コロナウイルス感染症対応指定 管理施設運営支援交付金の追加など

令和3年度一般会計補正予算(第4号)

■議案内容

歳入歳出に、それぞれ4億195万4千円を追加。

■主な質疑

▼防災拠点災害時相互 支援体制構築支援金 2230万円の追加

支援金の内容は、B & G財団から3年間にわたり補助を受け、災害対策用機材等の整備とソフト事業を行うもの。災害対策機材等については、油圧シヨベル、スライドダンプ、ウレタン手漕ぎボート、防災倉庫、エアテント、組立て式の給水タンク7基をそろえる。ソフト事業につい

ては、油圧シヨベルの講習会、研修会等を実施する。

▼新型コロナウイルス 感染症対応指定管理 施設運営支援交付金 2600万円の追加

この交付金の内容は、市が指定管理をしている施設のうち、緊急事態宣言が発令された令和2年4月、5月、令和3年1月の期間に、休業または休業に

対象者は、消防団員、市役所職員などを対象として、できるだけ幅広く講習をして、いざという時に誰でも使えるようにしていきたい。

相当する状況にあるといった経営に大きな影響を受けた指定管理者に対して支援金を交付するもの。

▼指定管理者に交付する 基準は。

第三セクターは令和2年度の経常収支が赤字、かつ前年度よりも収支が悪化している場合に対して、その差額の2分の1を支援。準民間は、企業努力の部分があることも勘案し差額の3分の1を支援、公共的団体は、企業努力が及ばないということ、基本的に差額の満額を支援する。ただし、指定管理期間中に一定の収益を得ている場合については対象外になる。

▼浮体式多目的公園改修工事 費800万円の追加

今回の改修工事に対する費用対効果をどのように考えているのか。 今回の工事費には、緊急防災減災事業債を活用するので、市の財政的負担は少ないが、海釣り公園として



▲浮体式多目的公園

▼集落実態調査負担金 70万円の追加

具体的に何を調査するのか。

県が事業主体となっていくので、特に自然が多く過疎が進んでいる地域でのにぎわいを取り戻すなどのために、どのようなことが必要であるかなどについて、集落に対しアンケート調査を実施するもので、今回は、沼島と灘の全集落を対象としている。 具体的な計画はあるのか。

今後のアンケート調査結果を踏まえ、どういったことができるかなどについて県と協議していきたい。

▼商工費の実施設委託料 5400万円の追加

どれぐらいの工事に対する設計を予定しているのか。

鳴門みさき荘の改修工事で規模はこれから決めていくが大きな工事である。実施設計については、今年度と次年度にも予定している。

整備後の鳴門みさき荘の売り上げや収益性をどのように考えているのか。

今後の整備によって鳴門みさき荘は大きく生まれ変わろうとしている。まだ協議中だが、大鳴門橋の自転車道の整備や、他に数多く隠された魅力は多々あるところなので、企業側も投資に対する効果は十分にあると算定している。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

過疎地域持続的発展計画の策定

■議案内容

西淡地域及び南淡地域が過疎地域として指定されたのを受け、「過疎地域持続的発展計画」を策定。

■主な質疑

問 計画の中には、いろいろな項目で目標値を定めているが、市全体での目標値なのか。

答 過疎地域に認定された西淡地域・南淡地域のみが目標数値は、現時点で持つてない。西淡地域・南淡地域において過疎地域からの脱却を図っていくことが、南あわじ市全体を伸ばしていくことにつながるから、目標値については市全体として定めている。

■討論要旨

この計画書には、大きく人口が減少している西淡地域や南淡地域の肝心の過疎対策の計画がほとんど書かれていない。これでは過疎地域持続的発展計画とは言えず、法律の趣旨からも逸脱している。根本から計画書を作り直すべきである。

討論 賛成 原口 育大 議員

■討論要旨

本案は「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づき、西淡地域及び南淡地域について、様々な優遇措置を活用しながら過疎対策を進めようとするものであり、その前提となる本案の一刻も早い承認を期待する。

■討論

反対 蛭子 智彦 議員

■議決結果

賛成多数で原案可決。

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例制定

■議案内容

過疎地域内において、過疎地域持続的発展計画で産業振興促進事項として定められた業種に係る設備の取得等をした事業者に対して、固定資産税の課税免除による税制面での支援措置を行う。

■主な質疑

問 今回の条例で課税免除される対象は。

答 西淡地域・南淡地域にある製造業、下宿を除く旅館業、農林水産物等販売業及び情報サービス業のうち、条例で規定する業種の会社等が、500万円以上の施設・設備投資を行った際、それらに係る固定資産税を3年間免除するというものである。ただし、業種や会社の規模により施設設備投資の基準額が上がるものもある。

■主な質疑

問 課税免除額はどれくらいになるのか。

答 令和3年4月1日以降に取得した施設設備のうちで条件を満たすものが対象となる。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

問 計画書には、大きく人口が減少している西淡地域や南淡地域の肝心の過疎対策の計画がほとんど書かれていない。これでは過疎地域持続的発展計画とは言えず、法律の趣旨からも逸脱している。根本から計画書を作り直すべきである。

この計画書には、大きく人口が減少している西淡地域や南淡地域の肝心の過疎対策の計画がほとんど書かれていない。これでは過疎地域持続的発展計画とは言えず、法律の趣旨からも逸脱している。根本から計画書を作り直すべきである。



(普)堀岸川護岸整備工事(第1期)請負変更契約の締結

■議案内容

三原開発株式会社との契約を121万円増額し、1億6751万7900円に変更。

■主な質疑

問 堀岸川護岸整備工事は、第1期工事は三原開発株式会社、第2期工事は栄和興業株式会社と施工業者が変わるが、1期工事で行ったもので、2期工事でも使えるものは再利用することになっているのか。

答 現状の仮設道路等、引き続き利用できるものは利用することになっている。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

損害賠償額の決定及び和解

■議案内容

車道上にある鉄板蓋が跳ね上がり、車両を破損したため補償を行う。

■主な質疑

問 事故の原因となったマンホールの蓋は、市の下水道の物件なのか。

答 開発時に設置された鉄蓋であり、本市が設置した下水道の蓋ではない。

問 こういう物件は、このあたりにたくさんあるのか。

答 たくさん見受けられる。昭和50年代以前の開発であるため、開発時における協定等があまりできていない場所であり、市道認定により市が引き継いだ物件である。

問 再発防止対策として何か考えているのか。

答 このような竝鋼板による鉄蓋の設置やモルタル等の修繕であれば、同様の事

(普)堀岸川護岸整備工事(第2期)請負契約の締結

■議案内容

栄和興業株式会社と2億6004万円で契約。

■主な質疑

問 低入札価格調査制度の調査対象になった案件だが、調査の上、この契約金額で工事が完了できると確認できているので、今後、変更契約や清算による金額変更はないと理解してよいか。

答 工事契約内容部分についてはこの契約で必ず履行していただく。ただし、予期しない埋設物によって機

故が起り得るので、安全性の高いハンドホール用の蓋に順次、取り替えていくなどして対応していきたい。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

械の変更等が発生した場合は、受注者と協議しながら変更設計を行い、契約変更することもある。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

問 この工事の工期は令和5年3月31日とのことだが、周辺住民の生活に直結する河川護岸工事なので、住民に安心感を与えるため、工期は短縮できないのか。

答 強固な護岸等ができれば周辺住民は安心できるので、可能な限り工期は短縮していきたいと思っている。

人事案件

[敬称略]

■広田財産区管理委員の選任

同意 池上 呷朗 藤井 文吉 小嶋 三夫 的崎 弘雅 小坂 利夫 野上 雅一 児玉 昌士
任期 令和3年10月1日～令和7年9月30日

■洲本市・南あわじ市山林事務組合議会議員の選任

同意 池上 呷朗 藤井 文吉 小嶋 三夫 的崎 弘雅 小坂 利夫 野上 雅一 児玉 昌士
任期 令和3年11月11日～令和7年11月10日

一般質問 市政を問う

9月7日、8日、9日の3日間にわたって、14人の議員が一般質問を行いました。
今号は質問項目のみの掲載とさせていただきます。なお、今回の一般質問の録画放送の
公開は11月中旬ごろを予定しております。
市HP → 議会事務局 → 録画放送 → 一般質問の録画配信をご確認しご視聴ください。

南あわじ市議会
ホームページ



議員名	質問内容
蛭子 智彦	<ul style="list-style-type: none"> 古津路調整池と排水対策 濃厚接触者らの経済保障 奨学金制度の創設 市、及び、淡路島全体の成長戦略
久米 啓右	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染状況と、自治体別発表 有害鳥獣対策
原口 育大	<ul style="list-style-type: none"> 入札制度 農業の振興 市道浦壁三條線の拡幅工事
吉田 良子	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染症対策と水道料金の減免制度の実施 ごみの減量化の取り組みと高齢者等ごみだし支援
熊田 司	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策 地方創生 福祉 通学路
太田 康文	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における市の対応（感染状況・ワクチン接種） 子どもへのワクチン接種 その他市のコロナ対策 コロナ禍での小中学校の感染対策と対応 その他、市民からの声
土井 巧	<ul style="list-style-type: none"> 緊急事態宣言下での新型コロナウイルス感染防止 兵庫県独自の教育施策の継続・推進 子ども議会の要望と実現 人権課題
木場 徹	<ul style="list-style-type: none"> 水産振興 過疎、人口減少対策 災害対策インフラ整備
北条志津子	<ul style="list-style-type: none"> 道路整備と環境整備 危機管理
印部 久信	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理
中村三千雄	<ul style="list-style-type: none"> 離島地域の現況と課題
廣内 孝次	<ul style="list-style-type: none"> 渦潮の世界遺産登録 榎列小学校大規模改修工事 通学路の安全対策
谷口 博文	<ul style="list-style-type: none"> 過疎地域持続的発展計画 市資源循環型産業体系マスタープラン
登里 伸一	<ul style="list-style-type: none"> 日本の政治・経済と、南あわじ市の行政 教育現場へのデジタル化 防災 通学路の安全

議決結果一覧

■全議員賛成の議案

(欠席者を除く)

提出者	議案名	議決結果
市長	土地開発事業特別会計決算の認定	認定
市長	令和2年度決算認定	認定
市長	国民宿舎事業特別会計決算の認定	認定
市長	広田財産区特別会計決算の認定	認定
市長	福良財産区特別会計決算の認定	認定
市長	北阿万財産区特別会計決算の認定	認定
市長	沼島財産区特別会計決算の認定	認定
市長	令和3年度一般会計補正予算(第4号)	原案可決
市長	情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	市立学校施設の開放に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決

提出者	議案名	議決結果
市長	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例制定	原案可決
市長	兵庫県市町交通災害共済組合規約の一部変更	原案可決
市長	(普)堀岸川護岸整備工事(第1期)請負変更契約の締結	原案可決
市長	兵庫県市町交通災害共済組合の解散	原案可決
市長	兵庫県市町交通災害共済組合の解散に伴う財産処分	原案可決
市長	損害賠償額の決定及び和解	原案可決
市長	(普)堀岸川護岸整備工事(第2期)請負契約の締結	原案可決
市長	広田財産区管理委員会委員の選任	同意
市長	洲本市・南あわじ市山林事務組合議会議員の選任	同意

■賛否の分かれた議案

議長は表決に加わらない。(○は賛成、×は反対、-は欠席、※は退席)

提出者	議案名	議決結果	各議員の賛否																	
			中村三千雄	阿部計一	登里伸一	北村利夫	印部久信	吉田良子	廣内孝次	木場徹	小島一	久米啓右	北条志津子	谷口博文	土井巧	原口育大	熊田司	蛭子智彦	太田康文	
市長	一般会計決算の認定	認定	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
市長	令和2年度決算認定	認定	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
市長	後期高齢者医療特別会計決算の認定	認定	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
市長	介護保険特別会計決算の認定	認定	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
市長	産業廃棄物最終処分事業特別会計決算の認定	認定	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
市長	下水道事業会計決算の認定	認定	○	-	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
市長	過疎地域持続的発展計画の策定	原案可決	○	-	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議会運営委員会	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	原案可決	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○

議案審査で
こんな議論をしました

第104回
臨時会
7月12日
～7月16日

令和3年度一般会計補正予算(第3号)

■議案内容

歳入歳出にそれぞれ2億8478万円を追加。

■主な質疑

▼生活応援給付

7100万円の追加

問 対象となる世帯は。

答 住民税非課税世帯と住民税均等割のみ課税世帯の約7100世帯を対象にしている。

問 プレミアム付商品券を使用する理由は。

答 現金支給すると、タンズ預金になる可能性がある。別の商品券にすると、低所得者として区分されている意識が働き、使いたくなくなる。プレミアム付商品券を使用することで県の補助対象となる。

▼みんなの食堂事業補助金

300万円の追加

問 食堂の開催時期、回数、用意する食事数は。

答 時期は、子供が長期休暇中の夏、冬、春休みなどを中心に開催。回数は、年度内に8回程度で、食数は、今のところ限定していない。

問 対象者は。

答 今回は、市民全般を対象とし、社会福祉協議会の貸付などの利用者には直接案内をする。

■議決結果

賛成多数で原案可決。



▲みんなの食堂(イメージ写真)

が、送迎などは考えているのか。
答 今回は交通手段の手配までは考えていない。市内で1箇所での実施のため、状況をみながら考えていきたい。

新火葬場火葬炉
設備工事請負契約の締結

■議案内容

株式会社宮本工業所と2億2220万円で契約。

■主な質疑

問 相手方は、プロポーザル後5年間以上、どのような

■議論

反対 原口 育大 議員

平成28年の指名型プロポーザルで第一優先交渉権者となった(株)宮本工業所と、仮契約もしない状態が5年以内

上も続いたのち、一者随契約の見積入札によって同社が2億2220万円(落札率100%)で落札したことは違法ではないか。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

議長は表決に加わらない。(○は賛成、×は反対、-は欠席、※は退席)

提出者	議案名	議決結果	各議員の賛否																	
			中村三千雄	阿部計一	登里伸一	北村利夫	印部久信	吉田良子	廣内孝次	木場徹	小島一	久米啓右	北条志津子	谷口博文	土井巧	原口育大	熊田司	蛭子智彦	太田康文	
市長	令和3年度一般会計補正予算(第3号)	原案可決	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	新火葬場建設工事請負契約の締結	原案可決	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	新火葬場火葬炉設備工事請負契約の締結	原案可決	-	-	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一部事務組合などの議会報告

令和3年7月～9月

兵庫県後期高齢者医療
広域連合

▼第2回定例会(8月17日)

専決処分1件を承認。令和2年度一般・特別会計決算を認定し、令和3年度一般・特別各会計補正予算(各第1号)を可決。
新型コロナウイルス感染症対応の条例の一部改正を可決。副広域連合長に三木市長仲田一彦を選任。

淡路広域行政事務組合

▼第3回定例会(8月25日)

令和2年度歳入歳出決算を認定。押印を求める手続の見直しのための関係条例の整理に関する条例制定についてなどを可決。
また、副議長に岨下博史議員(淡路市)を選出。

淡路広域水道企業団

▼第3回定例会(8月25日)

令和2年度事業会計決算を認定。淡路広域水道企業団個人情報保護条例の一部を改正する条例制定についてなどの議案を可決。
また、議長に松本英志議員(淡路市)、監査委員に太田善雄議員(淡路市)、清水宏氏(淡路市)の選任に同意。

南あわじ市・洲本市
小中学校組合

▼第3回臨時会(8月17日)

教育委員会委員の任命に同意。
氏名 狩野時夫
任期 令和3年9月1日から令和7年8月31日

淡路広域消防事務組合

▼第3回定例会(8月25日)

令和2年度一般会計決算を認定。淡路広域消防事務組合職員の服務に関する条例の一部を改正する条例制定についてなどの議案を可決。
また、監査委員に清水宏氏(淡路市)の選任に同意。

兵庫県功労者表彰

永年地方自治の発展と振興に貢献された議員が表彰されました。

■自治功労賞



廣内 孝次 議員

臨時会・定例会の日程

任期満了に伴う市議会議員選挙(10月31日投票)が行われました。
市議会では、11月下旬に臨時会を開催し、議長選挙や新たな委員会構成を決定します。また12月に定例会を開催します。
日程が決まり次第、市ホームページに掲載します。
左記のQRコードを読み取っていただくか、インターネットで、南あわじ市ホームページをご検索していただき、南あわじ市議会をクリックしてください。

南あわじ市 Minami Awaji City Web Site

新型コロナウイルス関連情報

感染症対策にご協力をお願いします。

▶ 関連情報はここから



市長の専決処分事項に関する条例を制定 議会運営委員会の1年間の調査報告

(1)議会運営

- ①毎月定例的に円滑で効率的な議会運営についての協議を行った。
- ②新型コロナウイルス感染拡大防止のための委員会の運営について、説明員入替え制の導入実績を検証し、予算審査特別委員会への導入についても検討のうえ、対策を講じた。
- ③ペーパーレス会議の導入に向けて、タブレットの仕様やルール等を決定し、会議システムのデモンストレーションを実施した。

(2)議会の会議規則、委員会に関する条例等

- ①市議会会議規則について、出産、育児、介護等を明文化する改正を行った。
- ②「地方公共団体における書面規制、押印、対面規制の見直しについて」を受け、行政手続における押印の義務づけを見直した。
- ③議会の委任による専決処分事項の指定について、委員会発委によって条例を制定し、市長が専決処分することができる事項を指定した。合わせて、専決処分における議会への報告の取り扱いについても協議して、今後の方針を決定した。



▲淡路議会議員研修会

(3)議長の諮問に関する事項

- ①議会業務継続計画（BCP）について、感染症対応の明確化を目的に計画を見直した。
- ②「人口減少時代の地域再生」についての講演に参加し、研修を受けた。（令和3年7月28日）

「議会を身近にする」ために 議会広報広聴常任委員会の1年間の調査報告

(1)広報活動

- ①議会広報誌の発行
 - 「議会だより」を年3回発行し、これまでの研修で学んだことを活かし編集した。
 - 表紙については、伝統文化などを掲載し、南あわじ市の魅力を伝えた。
 - 一般質問は、各議員の質問項目を一覧表にまとめ見やすくした。
 - 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため市民インタビューを自粛したが、市民と交流する場として引き続き写真の募集をし、「市民ギャラリー」として掲載した。
- ②定例会の傍聴アナウンス
 - 12月定例会は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、傍聴アナウンスを中止した。3月・6月定例会は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続していたため、傍聴案内から、インターネットでの本会議ライブ配信のお知らせに内容を変更し、「議会をより身近にする、見える議会活動」の一環として定例会のお知らせを行った。
- ③YouTubeでの動画配信
 - You Tubeでの一般質問の動画配信には、年間延べ2,724回の再生回数を記録した。
 - You Tubeでの本会議・委員会のライブ配信は、年間延べ2,231回の再生回数を記録した。

(2)広報活動

- ①第7回子ども議会を開催し、市内の各小学校の代表15人が参加。「まちづくりについてクラスで話し合おう」をテーマに行った。
- ②第12回議会報告会を開催し、「コロナ禍での南あわじ市民への影響について」をテーマに各種団体代表者による状況報告と意見交換を行った。



▲市長にイベント結果を報告

最大想定避難人数の収容確保を

総務文教常任委員会

▼市の総合的企画・調整

高速バスについて、徳島は、市民の生活圏域として重要な部分である。市内で停車する高速バスの増便を課題として位置付け、実現に努めていただきたい。

▼市有財産の維持管理と財源の確保

学校施設の改修について、定期点検で危険と判断した箇所は子供達の安全を守るうえで、応急処置はしっかりとやっていただきたい。公民館の改修についても、計画的に改修をしていただきたい。

▼離島振興対策

次期計画の策定に向けては、地元住民の意見を十分に聞き入れたなかで政策に活かしていただきたい。

▼人権施策

ジェンダーの平等、男女間の格差、差別については、

様々な問題があることを学校教育や社会教育の中で、今後の課題として位置付けていただきたい。

▼消防・防災対策の推進

避難所について、LED化は、照度調整や操作性など、避難所生活も改善されることから、早急に体育館等のLED化を進めていただきたい。

感染防止対策をとると避難所の収容人数が半数になった。南海トラフ巨大地震の最大想定避難人数を避難所に収容できるように確保をしていただきたい。

新型コロナウイルス感染症の発生状況について、市内での発生状況が分からない。危機管理上からも個人のプライバシーには当然配慮しなければならないが、市内での情報はある程度出していきたい。

1年間の調査報告

9月定例会で各委員会の令和2年11月から1年間の活動報告が行われました。その結果を報告します。



▲淡路人形座との意見交換会（7/29）

所得状況の把握に努め支援策を

産業厚生常任委員会

▼税の賦課徴収

新型コロナウイルス感染症の影響による市民の経済状況が心配である。市民の所得状況の把握に努め、必要となる支援が届くよう、支援策の検討に取り組んでいただきたい。

▼生活環境の整備推進

産業廃棄物処理場については、受け入れが出来なくなると、地場産業に大きな影響をもたらすことが想定される。喫緊の課題であるため、早急に解決策を検討していただきたい。

▼福祉対策

生活困窮者のコロナ対策について、コロナ禍の影響で生活苦にある方もいる。窓口に来られた時は、丁寧に聞き取りを行い、救済につながるよう相談・支援していただきたい。

▼医療体制と健康づくりの推進

新型コロナウイルスのワクチン接種については、集団接種の方法、副作用への対応、基礎疾患のある人への対応、個別病院での接種、交通手段の確保など、医師会との協力体制のもと、万全の体制を整えて実施していただきたい。

▼水産振興の推進について

水産業については、漁価が大幅に下落し、漁業従事者にとって厳しい状況が続いている。漁業従事者の実情に合った、財政的支援策を打ち出していただきたい。

▼都市整備事業の推進について

河川の浚渫工事については、草木が生い茂っている状態で放置されていると見えるところもある。工事の範囲をもっと広めてほしいという周辺住民の声を、県へ粘り強く届けていただきたい。



素晴らしい感謝の夕暮れ、日没、夕焼け模様です。(撮影 松帆 枡池)

引き続き

写真募集!!

風景・イベント等の写真をお待ちしています



これまで以上に親しまれる「議会だより」の取組として、皆様から投稿していただく写真(風景、イベント等)・コメントを掲載するコーナーを設けています。

応募条件 応募者本人が南あわじ市内で撮影した写真のうち、他のコンテスト等への応募をしていないもの。

応募方法 住所、氏名、電話番号、タイトル、撮影場所、コメント(50字以内)を、明記の上、下記の方法でお送りください。

- Eメールの場合 gikai@city.minamiawaji.hyogo.jp
- 郵送、持参の場合 〒656-0492 南あわじ市市善光寺22番地1 南あわじ市議会事務局 宛

注意事項

- ・掲載については、議会広報広聴常任委員会で審査決定し、採用された方には連絡を差し上げます。
- ・ご応募いただいた写真・データ等は返却しません。
- ・肖像権、登録商標の無断転用、著作権の侵害等に関するトラブルには、当市議会は一切の責任を負いません。
- ・掲載作品の著作権は作者に帰属しますが、当市議会がHP等で使用することができるものとします。

お知らせ

市民インタビューは、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止しています。

編集後記

「第7回南あわじ市子ども議会」を新型コロナウイルス感染症防止対策を講じたうえ、開催しました。

当日は、子どもたちが、将来の南あわじ市がより良い未来になるように真剣に一生懸命考えた質問には、私達自身も感動しましたし、大いに学ぶべきものがありました。

当日の小学生の質問内容を、特集ページで掲載していますので、ご覧いただければと思います。

議会広報広聴常任委員会では、これからも「議会を身近にする」ために、これまでの研修等で学んだことを活かして、より市民目線に立つことを重点に広報誌づくりに取り組んで参ります。(谷口)

議会広報広聴常任委員会

北条志津子 久米 啓右
 太田 康文 谷口 博文
 吉田 良子 原口 育大